

■ OnAir 3000 ユーザーレポート

株式会社熊本放送 様

OnAir 3000



ラジオ第3スタジオを OnAir 3000 で更新



株式会社熊本放送
ラジオ局 ラジオ編成制作部
西 哲司

唯一のワンマン送出対応スタジオ

RKKラジオ第3スタジオは、1998年の社屋建設時に設備して約15年が経過し、メーカーのサポートも終了した事から今回の更新となりました。弊社ラジオの7つのスタジオの中で生放送に対応している3つのスタジオの中の1つで、唯一ワンマン送出に対応しているスタジオです。

選定条件

今回更新にあたり重視した事は、生放送に対応した安定性、信頼性、そしてDJしながらのワンマン送出に対応出来る、操作の簡便性です。ワンマンスタジオという限られたスペースの中でフェーダー数の制限もあり、更新前からここはデジタル卓を使用しておりました。今回も検討当初からデジタル卓に絞って検討を致しました。また技術のミキサーが付かず、音声卓の知識が深くないディレクターが自らミキシングをする機会も多いので、前に他の人が設定を変更していても起動時にデフォルトに戻る事も条件と致しました。

決定理由

更新にあたり他のメーカーとの比較検討を行い、最終的には2つのメーカーに絞り検討しました。その中でOnAir 3000を評価した点ですが、RKKでは既に第1スタジオと第4スタジオにOnAir 3000を導入しており、信頼性・安定性においては使用者としての信頼と実績があります。

第1スタジオは生放送対応のスタジオで、2007年6月に運用開始しているのですが、今まで6年以上大きなトラブルもなく運用出来ています。また肝心の音質についても、使用している側として高く評価出来るものです。それから、ミキサーにとっては意外と重要な事ですが、フェーダー幅が広すぎず狭すぎず、使用感が良い。フェーダーの動きが適度な重さとスムーズさで操作感が心地良い。つまりストレスなく気持ち良くミキシングが出来る事もOnAir 3000を評価した点です。競合検討したメーカーの卓もかなり評価出来るものではありましたが、限られたスペースの中でフェーダー数を確保するにはフェーダー幅が広過ぎなどの不利な点がありました。

他にも、スタッフ皆が1スタ・4スタでOnAir 3000に慣れ親しんでいる事も決定の大きな理由となりました。操作方法を細かく説明しなくても、ミキサーやディレクター皆が簡単に使えてしまう。これは導入担当者にしてみればかなりの手間を省い

てくれ、使用する側にしても違う卓を初めから覚えるストレスも無く日常運用に入れる、両者にとってメリットが大きいものでした。また、実は第1スタジオ、第4スタジオでOnAir 3000に関して不便を感じている点があったのですが、この点も今回営業さんに相談してみたところ、ただの設定の問題ですぐに解決出来る事が分かり、以前に導入していた第1・第4スタジオ共に設定をしておいてもらい、更にOnAir 3000が使いやすいものとなりました。

運用開始後

2013年3月に完成後半年が経過し、生放送スタジオとしても録音スタジオとしても順調に運用しています。その間、選挙特番の素材受けスタジオとしてや、ワンマンスタジオでありながらゲスト5人に対応するなど、さまざまな状況がありました。その際にもOnAir 3000は柔軟な運用が可能で、そこも素晴らしい点であると思っています。

またワンマンスタジオはマシンルームも同一スタジオ内にあり、FANなどのノイズが大きなミキサーは不向きですが、STUDERに関しては全く問題ありません。スタジオ内はとても快適で長く居座ってしまう人も多く、常に誰かが使用している状態ですが、この使用頻度の高さが使い易さの表れであると感じています。